

8月21日(月)

悪意のある蛇に注意

聖書朗読 創世記 3:1～8

目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。男らしく、強くありなさい。

I コリント 16:13

蛇は、エバが果実の沢山実った園を歩いているところを見かけました。エバにとっては何と心地良いひと時だったことでしょうか。正にその時、蛇はエバに罠を仕掛け、善悪の知識の木から取って食べるようそそのかしました。エバはまさかこの時の蛇との会話がそれ以降の人類の歴史にどんなに大きな影響を与えることになるか、知る由もありませんでした。

私たちが心地よい時を過ごしている時こそ、実は私たちは誘惑に惑わされやすくなっているのです。ですから、私たちはいつも注意深くあるべきで、私たちの周りの人々が言っていることや世間の価値観に対しても、神の御言葉と照らして吟味するような慎重な姿勢が大切ではないでしょうか。

私たちは油断せず、誘惑に惑わされないよう用心深くいる必要があります。『ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。』と I テサロニケ 5:6 にはあります。『また、私たちが命じたように、落ち着いた生活をすることを志し、自分の仕事に身を入れ、自分の手で働きなさい。外の人々に対してもりっぱにふるまうことができ、また乏しいことがないようにするためです。』(I テサロニケ 4:11～12) ともあります。私たちが神様の御心を求めることを、神様は助けて下さいます。そして神様の愛は、私たちが神様の御心を行う原動力として私たちを力づけます。

讃美歌 365

祈り 父なる神様。私たちが御心を理解し、御言葉に従えるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ベティ・S・ベンダー

テネシー州 コロンビア

今日の力

2017年8月21日～8月27日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月22日(火)

あなたのふるさとは何処？

聖書朗読 創世記 12:1～9

私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。 IIコリント 4:18

子どもの純粋な発想に驚かされることはありませんか？「ご飯の時間だから手を洗って」と言う親に対して「どうして？」と答える子ども。親は「手にばい菌が付いているから」と答え、それに対して「ばい菌とイエス様！ ばい菌とイエス様！ 両方とも目に見えないね！」と子どもが答えました。

聖書では沢山の箇所、私たちに最も大切なことの多くは目に見えないと書かれています。特にヘブル人への手紙では信仰について書かれています。まず11:1で『信仰は望んでいる事から保証し、目に見えないものを確信させるものです。』とあります。この聖句を理解するための最も良い事例はアブラハムとその信仰だと思えます。本日の聖書朗読の箇所にも『主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。』(創世記12:1)とあります。アブラハムは生まれ故郷であるウルを旅立つ前にそこにいる親戚、友人たちのことを考え、色々な思いが交差したでしょう。しかし御心に従い、行ったことのない地へと旅立ったのです。このアブラハムの行動は、聖書の教える信仰心を示す良い例ではないでしょうか？ 神様の約束を信じ、古い自分を捨てて従うことです。あなたにとっての「ウル」は何でしょうか？ アブラハムの場合は住み慣れた異教の地でしたが、ある人にとっては物欲やプライドなどかもしれません。

私たちは神様よりもほかのものに拠り頼んでしまう生き方をしているかもしれません。しかし神様は、そのような生き方よりももっと素晴らしい生き方へと私たち一人ひとりを招いて下さっています。

讃美歌 494

祈り 親愛なる神様。お恵みを与えて下さっているのに、私たちはそのありがたみに気が付けないことがあることをお赦し下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デビッド・ラングフォード
テキサス州 ラボック

8月23日(水)

意外な結果

聖書朗読 創世記 33:1～12

ヤコブは答えた。「いいえ。もしお気に召したら、どうか私の手から私の贈物を受け取ってください。私はあなたの顔を、神の御顔を見るように見えています。あなたが私を快く受け入れてくださいましたから。 創世記 33:10

ヤコブは神様に従いカナン之地へ戻りましたが、兄であるエサウからの復讐を恐れていたのです。この帰郷には並々ならぬ緊張感があつたはず。ヤコブは以前エサウを欺き、その地から逃げたのです。ですからヤコブは、エサウが自分の帰郷を喜んでくれるとは思っていませんでした。ヤコブはエサウとの再会に際し、出来るだけ低姿勢で臨みました。まず、たくさんの贈り物と共に召使いをエサウの許に遣わし、『あなたのしもべヤコブ』からの贈り物だとエサウに伝えました(創世記 32:20)。ヤコブを敵とみなしていたエサウの怒りを鎮めるために、出来る限りのことをしたことが伺えます。

ヤコブは自分の家族を守るために、さらなる行動に出ます。妻、子ども、そして奴隷たちを二つのグループに分けました。攻撃されても、どちらかのグループが残るようにするためです。

いよいよエサウがヤコブに会いに向かつて来ました。しかしこの時エサウは、400人もの者を引き連れてやって来ようとしていました。ヤコブはてっきり、平和的再会は無失敗し、エサウが自分を滅ぼしにやって来たものと思ってしまいました。しかし、ヤコブは信仰をもってそのまま進みました。『ヤコブ自身は彼らの先に立って進んだ。彼は、兄に近づくまで、七回も地に伏しておじぎをした。』(創世記 33:3)

意外なことが起こりました。ヤコブは、エサウが自分を敵視していて復讐心を抱いていると思っていたのですが、実際にはそうではなく、エサウは泣いて喜びヤコブに口づけをしました。神様は、ヤコブとエサウそれぞれの心に働きかけて下さっていたのです。

あなたも今、誰かとの和解を必要としていますか？ 神様の御言葉に従い、あなたが和解したいと思っている人との関係を築き直しましょう。神様の約束を信じて忠実であるなら、ヤコブとエサウのような意外な結果となるかもしれません。

讃美歌 301

祈り 聖なる父よ。壊れた人間関係が回復出来るようお導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

匿名

テネシー州 ナッシュビル

8月24日（木）

負ける，それとも打ち勝つ？

聖書朗読 創世記 50:15～21

わたしのために人々があなたがたをののしり，迫害し，ありもしないことで悪口を浴びせるとき，あなたがたは幸いです。喜びなさい。喜びおどきなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。あなたがたより前にいた預言者たちを，人々はそのように迫害したのです。

マタイ 5:11～12

「人生は不公平だ！ 何で自分の身にこんなことが？」。ヨセフはそう思ったのではないのでしょうか。あなたも同じように感じたことがきっとあるはずです。

ヨセフは兄弟の中でも特に父からかわいがられていたため，他の兄弟たちはヨセフを妬ましく思い，ヨセフを家から追い出すために奴隷として売ることになりました。そんなに兄弟から憎まれていて，ヨセフはさぞかし辛かったでしょう。エジプトでポティファルという人の召使いになりましたが，ポティファルの妻はヨセフを無実の罪で不当に非難しました。ヨセフは無実であったにも関わらず，牢屋へ送り込まれました。牢屋に居る間，ヨセフは囚人たちが見た夢の解釈をしました。その囚人の中にはパロ（エジプト王）に仕えていた役人も居ました。彼はヨセフが夢の解釈が出来る能力があることをパロに出所後に伝えると約束しました。しかし，その約束は忘れ去られ，七年もの間ヨセフは牢屋で過ごします。そしてやっと，役人はヨセフとの約束を思い出したのです。ヨセフはそのような状況下にあっても，決して神様に逆らうことはありませんでした。常に忠実であったのです。そして，長い年月が過ぎた後，ヨセフが兄弟と再会する機会が与えられ，その際ヨセフは兄弟を赦します。これらのこと全ては，神様の御計画でした。

イエス様が地上におられた時，軽蔑され，拒否され，最後には死へと追い込まれました。しかしイエス様はじっと耐え，この世に対し勝利されました。私たちも勝利者です。なぜなら，勝利者であられるイエス様が私たちの内に生きておられるからです。

讃美歌 298

祈り 天におられますお父様。素晴らしい信仰を持つヨセフの例を与えて下さり，ありがとうございます。今日一日もあなたが共にいて下さり，弱い私たちを強めて下さることに感謝します。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジェーン・ポー・マシー

テキサス州 ヒューストン

8月25日（金）

一人ひとりに与えられている大きな可能性

聖書朗読 出エジプト 2:1～10

それをあけると，子どもがいた。なんと，それは男の子で，泣いていた。彼女はその子をあわれに思い，「これはきっとヘブル人の子どもです」と言った。

出エジプト 2:6

アブラハム・リンカーンは，ケンタッキー州とインディアナ州の当時はまだ開拓地だった所にあつた大変質素な丸太小屋で育ちました。社会的に恵まれた環境とは言えず，十分な教育も受けていませんでした。リンカーンはとても苦労が多い農場での労働が好きでした。また，薪割りや畑作業により，肉体的に鍛えられました。そんな環境の中でも，リンカーンは様々な知識を得たいと思い，彼の熱意は読書へ向かいしました。読書を勧められたこともあり，聖書を読み，そこから道徳的な教養も学びました。リンカーンは決して恵まれた環境で育ったとは言えませんが，第16代アメリカ大統領となりました。そして今でも素晴らしいリーダーの一人として知られています。リンカーンという一人の人が，沢山の人の人生に影響を与えたのです。

パロは，生まれた男の子はナイル川に投げ入れて殺すよう命令しました（出エジプト 1:22）。しかし，モーセの母やパロの娘の思いやりによりモーセの命は救われました。後に神様は，モーセにイスラエルの人々を引き連れてエジプトを脱出し約束の地へ向かうようにお命じになりました。モーセは謙虚に神様に従い，沢山の人の人生を変えました。

私たちは皆一人の人間でしかありませんが，一人の人間が神様に用いられる時，その人は多くの人の人生を変えるような素晴らしい働きを遂げる場合があります。私たちも，リンカーンやモーセのように用いられる可能性を持っているのです。

讃美歌 368

祈り 親愛なる神様。私はこの広い世界で単なる一人の人間ですが，あなたに仕えられるよう，強い意思を与えて下さい。周りの人々に良い影響を与えられるよう，お導き下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

コニー・シンプキンス・トーマス

ケンタッキー州 マウント・ワシントン

8月26日（土）

命じられた通りに

聖書朗読 出エジプト 6:28～7:13

その人たちは、天にあるものの写しと影とに仕えているのであって、それらはモーセが幕屋を建てようとしたとき、神から御告げを受けたとおりのものです。神はこう言われたのです。「よく注意なさい。山であなたに示された型に従って、すべてのものを作りなさい。」
ヘブル 8:5

今日の聖書朗読箇所の前の方の章を見ますと、モーセはエジプト人に遣わされた使者としてはずいぶん消極的な態度を取りがちだったことが分かります。使者として遣わされる前、モーセはエジプトから逃げる逃亡者でした。（自分と同じイスラエル人の労働者を虐げているエジプト人を殺害してしまったから）。しかし神様はそんなモーセを、エジプトで虐げられていたイスラエル人の代弁者となるべく選ばれたのです。モーセが神様からの召しに躊躇したり、不安を感じたりしたのも無理ないかもしれません。神様がモーセに託そうとしていた役割は、本当に気が滅入ってしまうような大きな役割だったからです。

その一方、神様はきちんと御計画されていました。モーセは自分自身で話す内容を考えていたりする必要はありませんでした。神様が事細かに何を話し、どうするか指示して下さったのです。神様はモーセが口数の少ない人であることをご存知でしたから、彼の兄であるアロンを一緒に行かせました。モーセの代わりに人前で話すためです。モーセとアロンの二人で、神様の御指示通りに伝えるべきことを伝え、行うべきことを実行することが出来ました。

イスラエル人を引き連れてエジプトから脱出することは、パロからの抵抗などにより、簡単なことではありませんでした。しかし最後には、イスラエル人はエジプトの虐げから解放されました。この出エジプトは、モーセとアロンの働きなしでは得られないものでした。しかし出エジプトは、彼らが『主が命じられたとおりに行った』（7:10）から成し得たのです。こうして出エジプトは成功しました。物事は、出エジプトが成功したように必ずしも進むわけではありませんが、物事の結果よりも神に忠実であることが何よりも大切です。神様が私たちに求めておられることは結果を出すことよりも、まず神に忠実であることです。

讃美歌 338

祈り 天におられますお父様。あなたに従います。常に信仰心を持ち、御心に従えるようお導き下さい。あなたに対しいつも忠実であることが出来ますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

リチャード・ウォルフ
カンザス州 オラース

8月27日（日）

満ち溢れる力

聖書朗読 出エジプト 15:1～18

主よ。神々のうち、だれかあなたのような方がいるでしょうか。だれかあなたのように、聖であって力強く、たたえられつつ恐れられ、奇しいわざを行うことができますでしょうか。
出エジプト 15:11

水しぶきがかかって、ビックリしたことはありませんか？ 例えば、庭のホースが絡まってしまい、勢いよく水しぶきを浴びた経験はありませんか？

本日の聖書朗読の箇所では、水に関するもっとビックリするような話について書かれています。それはイスラエル人のエジプトからの脱出の際にモーセが神様に向かって歌った歌です。『あなたの鼻の息で、水は積み上げられ、流れはせきのように、まっすぐ立ち、大いなる水は海の真ん中で固まった』（出エジプト 15:8）。エジプト軍は総力を挙げて、エジプトを脱出したイスラエル人たちを追跡していました。エジプトはイスラエルを負かすことが出来ると豪語していたのです。しかし、神様は海の水を割り、イスラエル人が逃げられるよう助けられました。ですから、エジプトが豪語していた通りにはならなかったのです。パロとエジプト軍は海に飲まれました。

この場面を思い浮かべると、神様が海の水を割って下さったことによりイスラエル人がどれだけ安心したか想像出来ます。私たちもモーセが讃美したように、私たちが仕える素晴らしい神様を讃美いたしましょう。

讃美歌 267

祈り 親愛なる神様。全能なるあなたの力は地上の国々の力に勝ります。またあなたの力により、イエス様は復活を遂げられました。本当にあなたは讃美されるべきお方です。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ビル・アドコックス
オクラホマ州 ペサニー